

かがやきだより

NO.3

令和3(2021)年7月20日(火)
国立市立国立第一中学校
校長 山上 真哉
かがやき
ST SA IY HK
IM (専門員)



小さな勇氣



早いもので 7 月中旬になり、終業式を迎えようとしています。「かがやき」は 16 日に 1 学期の授業が終了となりました。1 年生のみなさんは中学校生活には慣れたでしょうか。部活動や期末テストなど初めてのことで戸惑いも多かったと思います。2, 3 年生は 1 学期を通して、どんな部分で成長することができたでしょうか。担当の先生と振り返りを行ったことと思います。

話は変わりますが、私が最近読んだ本にこんな言葉が書かれていました。

「今の私たちには、もっと求めるべき勇氣がありはしないか。それは、ずっと身近で求められる小さな勇氣。(中略)些細に見えるものの、それらは等身大の自分には切実で、確かに求めたいものである。気合いを入れれば得られそうだが、いつも何かが足りなくて出てこない。」

出典:『PHP 2021 年 8 月号』裏表紙

この言葉を読んだとき、毎回の「かがやき」での授業を通して、みなさんに、この「小さな勇氣」を積み重ねてもらえたらうれしいなと思いました。第 1 号の「かがやきだより」でもお伝えしましたが、「かがやき」は、「苦手なことや困っていることを解決するところ」「得意なところをさらに伸ばすところ」です。苦手なことも得意なことも、それを知るためには自分と向き合う必要があります。自分と向き合うのは苦しさを伴います。正面から向き合おうとするとどうしても逃げたくなってしまったり、曖昧な向き合い方になってしまったりします。つまり、「かがやき」で取り組むことには「大きな勇氣」が必要です。しかし、「大きな勇氣」は初めからそう簡単にもつことはできません。でも、「これなら自分でもできそう、やってみよう」という「小さな勇氣」を積み重ねれば、「大きな勇氣」になると思うのです。そしてその積み重ねが自信につながると考えています。

私の担当している生徒で、集団の活動に参加することが苦手な生徒がいます。初めて「かがやき」に来たときはとても不安そうであつむきがちでした。初めてのことや予定外のことに強い不安がありました。しかし、「かがやき」での時間を通して、「少しずつでいいから集団の活動に参加したい」という気持ちを伝えてくれました。そこで一緒に「どうすれば参加できるようになるのか」「何であれば参加できそうなのか」を考え、見通しを立て、スモールステップで目標を立てながら過ごしてきました。先日、これまで参加したことのない活動に初めて参加をすることになりました。私は初めてのことで、「大丈夫かな」と少し心配していました。しかし、戻ってきた生徒の様子は全く違いました。活動の内容を生き生きと私に話してくれたのです。まさに、「小さな勇氣」の積み重ねを「大きな勇氣」に変えて取り組み、自信がついたのだと思い、私はとてもうれしかったです。

私の好きな合唱曲で『心に花を咲かせよう』という曲があります。この曲の中で、「あなたもひとつ、私もひとつ、ひっそりでいい、勇氣を出して咲かせよう」という歌詞があります。私が「かがやき」の担当になってから、この歌詞がより一層好きになりました。「かがやき」を通して、みなさんにも「小さな勇氣」をもって、心に「花=自信」がもてるよう、一緒に考え、取り組んでいきましょう。

保護者のみなさま、かがやきの教育活動へ御理解、御協力いただきましてありがとうございます。2 学期も、かがやきの授業を通して、お子様が「小さな勇氣」をもって成長できるよう、精一杯指導・支援していきたいと思います。よろしく願いいたします。

2 学期のかがやきは、9 月 7 日(火)から授業が始まります。